

# 法華玄義私見聞の仏教語とその語義

高橋 秀 榮

鎌倉初期の天台僧・宝地房証真といえは、源平合戦のさなかに、叡山の経藏にこもって、法華三大部等の学習に一意専心に取り組んだ稀有な学僧として著名であるが、鎌倉時代には、同様な学僧はほかにも存在した。良達房心慶（生没年不詳）もその一人である。

彼は鎌倉後期の延慶年間頃、東国の天台談義所としてその名が知られた下総の龍角寺や、千葉寺などに居住しながら、法華三大部をはじめ、さまざまな天台聖教の学習に励んだ典型的な学僧である。その成果は「○○私見聞」と題された約二〇〇冊の手沢本に顕著である。ただ惜しむらくは、行書体と草書体が入り混じった崩し字で連綿と筆写されているため、その解読に多くの時間が必要である。そのようなことも障りとなつて、一向に研究者の関心が寄せられず、ほとんど読み解きされていない状況にある。中世の天台聖教の宝ともみなされる心慶の手沢本は、現在、神奈川県立金沢文庫に保管されているし、コピーサービスを受けることもできる。したがつて多少の労苦を覚悟に、それらの手沢本を丁寧に見ていくと、じつに興味深い要文や語句に遭遇することも期待できるのである。「法華玄義私見聞」の中からいま一二の例を示そう。

たとえば「無師独悟」という有名なことばがあるが、その語義は文字通り、「師について学ばないで、みずから悟ること」の意味である。筆者が愛用している宇井伯寿『仏教辞典』、中村元著『仏教語大辞典』、石田瑞麿著『例文仏教語大辞典』などの解説文も同様である。ところが、心慶の『法華玄義第六私見聞』の文中には、「今世ニ雖不ト遇仏ニ、過去ニ遇テ仏ニ、聞法スル故ニ、今世ニ無師独悟スル也ト云フ也。」と記されている。過去世に仏の法を聞いた縁によって無師独悟できたのだ、という解説は珍しい。

また「本根を闡る」という語句によせて、「唐土ノ習ハ嬰兒ノ之時、為欲作ト僧ニ故ニ男根ヲ取リヒシイテ不令生長ニ云々。此人雖壯年」<sup>ナリト</sup>、根ハイタツラニテアリ。二乗ノ大乘、根敗<sup>スルニ</sup>譬也。」という文章もみえる。このような刺激的な要文は、心慶の手沢本には少なからず見いだされるのである。

そんなひそかな愉しみもあって筆者は、折々に珍しい仏教用語や要文語句をメモ帖などに書き留めてきた。そしてその一端を、「心慶手沢本にみる仏教用語とその解釈文」と題して駒沢大学仏教学部論集三十五号に紹介させていただいたが、さらにその作業を続けたところ、前回とほぼ同じ分量の用語、要文がたまったので、ここに追加紹介させていただくことにした次第である。

今回は「法華玄義私見聞」だけに対象を絞って、その本文を読み解いてみた。すでに上記の辞典類に収録されている仏教語もあるが、さきの「無師独悟」と同様に、解説文がまったく異なるものもある。もとより個人的な興味と関心で拾い集めた用語の数々であるから、構成上に不整の感はまぬがれえないが、机上に備えた『仏教語辞典』の解説文と異なる文章に接することができるだけでも、学問の世界に身を置く研究者にとってはじつに魅力的であるといつていい。収録した仏教語とその語義の中に、鎌倉時代の「山家ノ法門」を探る上で何か裨益を蒙るところがあり、また中世天台学の基礎学習に多少でも参考になる点が見いだされたならば、筆者としてはこのうえない喜びである。

【あ行】

あしゆくば【阿閼婆】阿閼婆者、俱舍之中ニ、明数<sup>スラ</sup>中ニ、第二十重、数ヲ名阿閼婆也。今ノ經ノ阿閼婆等偈<sup>ト</sup>者、偈ノ数ノ多キ事ヲ挙也。（第六私見聞）

あなはな【阿那波那】阿那波那者、数息觀等也。（第二十私見聞）

あなん【阿難】阿難ハ如来出世二十五年ニ詣仏辺。（第二十私見聞）

いきほうふつ【依希髻髷】依希髻髷者、ホノカニシテ不分明事也。（第十私見聞）

いしん【遺身】遺身者、滅後ニ舍利ヲ遺也。（第十私見聞）

いち【一】一者、モツハラト可読歟<sup>ト</sup>覚也。（第十六私見聞）

いちおう【一往】一往者、一ハ全<sup>モツハラ</sup>往<sup>ユイテ</sup>可読也。又義ニ云、一度<sup>ヒトクヒ</sup>往<sup>テ</sup>入<sup>ト</sup>火<sup>ニ</sup>可読歟云々。（第二十私見聞）

いちご【二期】一期者、一生<sup>ヲ</sup>一期<sup>ト</sup>云歟。ハタ無始<sup>ヲ</sup>一期<sup>ト</sup>云歟。師云、無始<sup>ヨリ</sup>迷故<sup>ニ</sup>無始<sup>ヲ</sup>一期<sup>ト</sup>云歟。(第六私見聞)

いっさいしゆどうし【一切衆導師】一切衆導師者、仏也。(第六私見聞)

いっさいちちにん【一切智人】一切智人者、悟<sup>ノ</sup>人也。(第二十私見聞)

うしむし【有師無師】有師無師者、無師者、内証<sup>ハ</sup>不由他<sup>ニ</sup>故也。有師者、内証<sup>ハ</sup>已前<sup>ハ</sup>、必依師<sup>ニ</sup>可習<sup>ニ</sup>故也。(第十私見聞)

えき【易】易者、修易(シユヤク)也。即俗典也。(第六私見聞)

えげん【惠眼】惠眼<sup>ハ</sup>即空<sup>ノ</sup>徳也。故<sup>ニ</sup>無染着<sup>ニ</sup>也。惣<sup>テ</sup>五眼<sup>ヲ</sup>配当<sup>スル</sup>三諦<sup>ニ</sup>時<sup>ハ</sup>、惠眼<sup>ハ</sup>空諦也。仏眼<sup>ハ</sup>中諦也。余<sup>ノ</sup>三<sup>ハ</sup>仮諦<sup>ト</sup>云々。

(第四私見聞)

えなんじ【淮南子】准(クワイ)南子<sup>ト</sup>者、外典<sup>ノ</sup>名也。(第六私見聞)

えんきゆう【淹久】淹久<sup>ト</sup>者、久<sup>ヒザシキ</sup>義也。(第十私見聞)

おうげん【応現】応現者、長大<sup>ノ</sup>後、利益興隆<sup>シ</sup>給<sup>フ</sup>云也。(第十私見聞)

おうしやく【往昔】往昔<sup>ト</sup>者、十二年以前<sup>ヲ</sup>指也。(第十私見聞)

(第六私見聞)

おん【遠】遠<sup>ト</sup>者、法花<sup>ノ</sup>甚遠<sup>ノ</sup>義也。(第四私見聞)

おんごう【遠劫】遠劫<sup>ト</sup>者、過去久遠<sup>ノ</sup>世也。(第六私見聞)

【か行】

かいじよう【楷定】楷定<sup>ト</sup>者、決定<sup>ノ</sup>義也。(第二私見聞)

がくし【学士】学士<sup>ト</sup>者、学徒也。即一室同法也。(第十私見聞)

がくし【学士】学士<sup>ト</sup>者、弟子也。(第十私見聞)

かし【瑕疵】瑕疵<sup>ト</sup>者、キス也。即戒<sup>ノ</sup>縁起也。(第二十私見聞)

かじつ【果実】果実<sup>ト</sup>者、法花也。即法花<sup>ノ</sup>仏果<sup>ノ</sup>果実<sup>ヲ</sup>説<sup>テ</sup>衆生<sup>ヲ</sup>利益安楽<sup>スル</sup>カコトク、今<sup>ノ</sup>涅槃<sup>ノ</sup>経<sup>モ</sup>如<sup>シト</sup>是<sup>ニ</sup>云事也。(第十私見聞)

かしよう【迦葉】迦葉<sup>ト</sup>者、非大迦葉<sup>ニ</sup>、即外道也。今<sup>ハ</sup>成<sup>テ</sup>〔優留ヒン羅迦葉、迦耶迦葉、那提迦葉<sup>ト</sup>、兄弟三

人、外道也。本事事火、婆羅門ハツカ。「一」外道也。此、外道ハ、火ヲタヒテ身ヲアフリウカツナリ。（第四私見聞）

かせんねん【迦旃延】迦旃延ト者、小乗三藏、人也。即十大弟子、随一、迦旃延也。（第六私見聞）

かるだい【迦留陀夷】迦留陀夷ハ、淫欲至盛、人也。（第十私見聞）

かんけん【管見】管見ト者、卑下、語也。所謂、我ガ智恵、浅近ナル事ニ譬給也。（第十私見聞）

かんけん【管見】管見者、タケノツ、ヲ以テ如見カ虚空ニ云事也。管ヲ以テ所ノ見ニ虚空ハ狭也。（第十私見聞）

かんちゆうのしし【関中四子】関中者、羅什、住処也。四子者、即生ト肇ト融ト叡ト也。羅什ハ本ハ天竺人、後ニ渡唐ニ四人、子ヲ生、是□王、依仰ニ、「一」ムスメハ「一」即仏法、器ヲ為不絶ニ也云々。（第四私見聞）

かんめいやむ【漢明夜夢】漢カン明メイ夜夢ヨメ給ト者、金人キン西方シ飛来、見也。アヤシミテ此ヲウラナハシム。天竺、仏法、

此ノ土ニ可来云々。其後、人天竺ハツカハス道ニテ摩ト迦ト竺ト、法蘭ト二人来、行合也。此即漢土ニ仏法之渡初ト云々。委細事如抄注、可見之。（第十私見聞）

き【軌】軌者、ノリノ義也。（第二私見聞）

きぎよう【懽樂】懽樂ト者、樂欲也。（第六私見聞）

きく【規矩】規ト者、円ノ義也。矩ト者、方ノ義也。（第六私見聞）

きく【規矩】規矩者、方円也云々。（第十私見聞）

ぎげ【義解】義解ト者、義ヲ解ラ了スルコト也。（第十私見聞）

きけん【喜見】喜見ト者、薬王菩薩也。（第六私見聞）

きやく【貴薬】貴薬ト者、花嚴等、大乘ノ法也。不レハ叶小機ニ非病治也。（第二十私見聞）

きゆうい【旧医】旧医ト者、外道也。如來出世ヨリ前ニ出世シテ邪法ヲ説也。故ニ旧医ト云也。对シテ之ニ、如來ヲ新医ト云也。（第二私見聞）

私見聞

きゆうじよ【宮女】宮女ト者、メシツカウ人也。（第六私見聞）

きよう【経】経ト者、教也。（第二私見聞）

きよう【経】経ト者、修多羅也。（第六私見聞）

ぎようあんたん【議用暗短】議用暗短ト者、此モヒケノ御語也。我智恵暗ク短シカナリト云事也。（第十私見聞）

きょうし【経師】経師者、人ニ経ヲ授也。(第十私見聞)

ぎょうふ【行布】行布者、別教、法門也。(第十私見聞)

きんだいしやみ【均提沙弥】均提(キンタイ)沙弥者、舍利弗弟子也。(第十私見聞)

く【苦】苦者、ネンコロト云義アリ。又ニカシト云義アリ。(第二十私見聞)

くうしよう【空生】空生者、須菩提也。(第六私見聞)

くうへい【空平】空平者、法界平等ニ空見也。(第十私見聞)

ぐそくどう【具足道】具足道者、今、法花滿(万)法口備シテ、一法ニ無欠コト、故ニ名具足道ニ也。(第十私見聞)

ぐど【具度】具度者、煩惱、種類具足云事也。(第四私見聞)

くのう【九惱】九惱者、寒熱等、九也云々。(第十私見聞)

くりんによ【狗隣如】隣如、最初得道也。即有門得道、人也云々。(第十私見聞)

ぐんぞく【群賊】群賊者、悪、賊共也云々。ム云、調達同類云歟、覺也。(第六私見聞)

けい【絁】絁者、結糸也。(第六私見聞)

けいこう【京江】京江者、唐土、ミヤコ也。(第十私見聞)

けごんのせいりよう【華嚴清涼】花嚴、青涼、初、妙楽、御弟子也。後ニ移テ花嚴ニ下法花ニ也。(第十私見聞)

けつそう【嚙蚤】嚙蚤(クエツサウ、カム、ノム)者、是ハ嘆ル語云々。又ハソシルトイフ義アリ。(第四私見聞)

けんがるしや【懸河流瀉】懸、河流、瀉、等者、大、河、流、レ也。大師ノ樂説弁之、無窮自在ナルニ譬也。(第十私見聞)

げんしろうしゆう【原始要終】原始、要、終、イ本ニ、元始要終ト云、ヘリ。元始者、初ノ下種結縁也。要終者、得脱也。

(第六私見聞)

けんじよさんぎよう【卷舒鑽仰】卷舒鑽仰者、惣シテ學問ノ所ヲ爾云也。一義云、秦始皇惡王ニシテ孔子所集ノ孝經等ヲ皆焼失ス。

孔子以孝經、入石、箱、埋、塙。弟子開塙取之時、切テ塙ニ言ク、鑽キルニ之、弥覺其堅、仰其教文ヲ弥高事覺、云也。今ハ以此

例ス、大師之智徳堅高ナル事ヲ、如是書也。此有抄物義也。一義云、師云、此義分有説、但シ今義不然。秦シテ始皇ク

ワウノ王城ヲ、高、四十里ニ作。其、城四方以鉄、為ツイ地、故ニ此城堅高キコトヲ、孔子ノ弟子、孔子ノ智徳ノ堅高ニ譬テ、

書ク時如是、鑽<sup>レ</sup>ハ之<sup>ヲ</sup>、弥覺其堅<sup>コト</sup>。仰<sup>テ</sup>之<sup>ヲ</sup>弥覺<sup>ト</sup>其高<sup>コト</sup>。書也。今章安大師例之<sup>一</sup>、大師智德ノ堅高事<sup>ヲ</sup>、如是<sup>一</sup>書給也云々。（第十私見聞）

けんじよさんぎよう【卷舒鑽仰】卷舒鑽仰<sup>ト</sup>者、惣<sup>シテ</sup>學問<sup>ノ</sup>所<sup>ヲ</sup>爾云也。（第一私見聞）

けんたい【謙退】謙退<sup>ト</sup>者、卑下ノ語也。（第二十私見聞）

けんちよ【顯著】チヨト者、アラハス也。（第十私見聞）

こうざん【香山】大論<sup>ニ</sup>ハ耆闍崛山<sup>ト</sup>尺<sup>セリ</sup>。爾者如何。一義云、耆闍崛山ノ異名<sup>ト</sup>云々。委<sup>ケ</sup>ハ<sup>ハ</sup>可見抄ノ問答<sup>ヲ</sup>。（第二十私見聞）

こうしよう【業生】業生<sup>ト</sup>者、所被<sup>レ</sup>実業ノ衆生宿善<sup>ヲ</sup>云也。（第六私見聞）

こうづ【光統】光統（ツウ）ハ、仏駄三藏ノ弟子也。（第十私見聞）

こうづ【光統】光統<sup>ト</sup>者、仏駄三藏ノ學士ノ光統也。（第十私見聞）

こうふく【興福】興福<sup>ト</sup>者、福分<sup>ヲ</sup>修也。（第十私見聞）

こうらい【高麗】高麗<sup>ト</sup>者、高麗国也。（第十私見聞）

ごぎ【五義】五義<sup>ト</sup>者、名、体、字、用、教ノ五義也。（第十私見聞）

こくうじよう【虚空定】虚空定<sup>ト</sup>者、般若畢竟空<sup>ト</sup>觀<sup>スル</sup>定也。（第六私見聞）

こくし【国師】国師<sup>ト</sup>者、国土ノ師也。（第六私見聞）

こくこく【己国】己国<sup>ト</sup>者、寂光土也。（第六私見聞）

ごごひやくさい【後五百歲】正法千年、像法千年、後<sup>ヲ</sup>末法<sup>ヲ</sup>後五百歲<sup>ト</sup>云也云々。（第六私見聞）

ごごいすうぞう【護財醉象】悪象ノ損害人<sup>ヲ</sup>故<sup>ニ</sup>、為<sup>ニ</sup>守護ノ財宝<sup>一</sup>、彼象<sup>ヲ</sup>財宝<sup>ノ</sup>辺<sup>ニ</sup>置也。故護財醉象<sup>ト</sup>云也。（第六私見聞）

こじ【居士】居士<sup>ト</sup>者、外道也。（第十六私見聞）

こしん【己身】己身<sup>ト</sup>者、以円仏<sup>ヲ</sup>為<sup>レ</sup>己身<sup>ト</sup>、即九界ノ身<sup>ニ</sup>応同<sup>スル</sup>也。（第六私見聞）

【言行】

さしうし【左史右史】左史記事<sup>ス</sup>、右<sup>イ</sup>史<sup>ハ</sup>記言<sup>ト</sup>等者、事<sup>ヲ</sup>者、即身ノフルマイ也。言<sup>コト</sup>者、口<sup>ニ</sup>言<sup>スル</sup>也。又左史

左大臣是録<sup>ヲ</sup>、右史<sup>ハ</sup>右大臣是録<sup>スト</sup>云々。（第十私見聞）

さんいち【三二】三一ト者、三ハ権、一ハ実也。三即一ト云フ故ニ即權一而実一ナリト云也。(第六私見聞)

さんけ【三仮】三仮ト者、因生仮、相續仮、相待仮也。(第十私見聞)

さんけ【三仮】三仮ト者、相續仮、相待仮、因成仮ト云々。委ハ如止觀云々。(第四私見聞)

さんこう【三航】三航ト者、即大中小ノ三航也。即通別円ノ三教ニ譬也。(第四私見聞)

さんしゅうじつせん【三修十仙】三修十仙ト者、外道也。(第十私見聞)

さんそ【三鹿】三鹿ト者、即狭ト下ト短ト也。(第四私見聞)

さんぞう【三蔵】三蔵ト者、經律論ノ三蔵ヲ分別スル時、以理教ヲ名經、是即修多羅藏也。戒ヲ說ヲ經ヲ名律藏ト、即毘尼藏也。

阿毘曇ハ即論也。(第六私見聞)

さんだつ【三脱】三脱ト者、空、無相、無願ノ三解脱歟ト云々。(第六私見聞)

さんもん【山門】山門ト者、天台門也。今日本ノ山門ト云モ、彼ニ隨テ名山門ト也。(第十私見聞)

しきやくこんぽんのわく【枝客根本惑】枝客ト者、見思等也。根本ハ無明等也。(第五上私見聞)

しぎようにぜん【止行二善】止行二善ト者、止善作善也。行ハ作ノ義也。(第四私見聞)

しけん【四見】四見ト者、自他共無因、四見也。(第六私見聞)

じけんぞく【事眷屬】事眷屬ト者、業、願、通、応、四也。(第六私見聞)

しこう【志公】志公ト者、宝志和尚也。(第四私見聞)

しざんまい【四三昧】四三昧ト者、四惡趣ノ能治ノ三昧也。(第六私見聞)

じし【自刺】自刺ト者、自害也。(第六私見聞)

ししたい【四四諦】四四諦ト者、四教、四諦也。(第六私見聞)

しそ【緇素】緇素ト者、道俗也。緇ハ道也。素ハ俗也。見聞ニ悉ク注ス。可見之。(第十私見聞)

しち【四智】四智ト者、四教ノ智ヲ四智ト云也。(第六私見聞)

しちほとうせんしゆそく【七步盪洗手足】七步盪洗手足ト者、仏生テ即ニ七步給也。其後、手足ヲ盪洗也。(第六私見聞)

しちよう【視聽】視ト者、教門ノ見也。聽ト者、隨師ノ聽也。(第二私見聞)

しつく【疾苦】疾苦ト者、病苦也。(第六私見聞)

じつこう【十功】十功<sub>ト</sub>者、菩薩、十功德也。（第十私見聞）

じつしやなんだ【実又難陀】実又難陀<sub>ト</sub>者、三藏<sub>ノ</sub>名也。是<sub>モ</sub>天竺<sub>ノ</sub>人歟<sub>ト</sub>覺<sub>タリ</sub>。故<sub>ニ</sub>此<sub>ニハ</sub>云<sub>ト</sub>喜覺<sub>ニ</sub>云<sub>也</sub>。是人<sub>ノ</sub>所詠<sub>ノ</sub>花嚴<sub>ハ</sub>即新訳<sub>ノ</sub>經<sub>是也</sub>。（第二十私見聞）

じつり【実理】実理<sub>ト</sub>者、実義也。即大乘実義<sub>ヲ</sub>漸般若<sub>ノ</sub>之時<sub>ヲ</sub>、説給<sub>、</sub>故<sub>ニ</sub>乘漸<sub>ヲ</sub>聞<sub>テ</sub>発動<sub>スル</sub>也。（第十私見聞）

じどう【似道】似道<sub>ト</sub>者、見思斷<sub>ノ</sub>位也。即相似位也。（第六私見聞）

しぶつ【四仏】四仏<sub>ト</sub>者、四教<sub>ノ</sub>仏也。（第六私見聞）

しやくだいはなし【尺提婆那氏】尺提婆那氏<sub>（シ）</sub><sub>ト</sub>者、帝釈<sub>ノ</sub>異名也。是<sub>ハ</sub>譬<sub>ヲ</sub>拳<sub>ル</sub>也。即涅槃<sub>ノ</sub>仏性<sub>ト</sub>般若<sub>ノ</sub>実相<sub>トハ</sub>、雖名異<sub>ナルト</sub>、体<sub>ハ</sub>一也。又帝釈<sub>ト云ハ</sub>、尺提婆那氏<sub>ト云フ</sub>カコトク也云々。（第十私見聞）

しゆうきん【袖衿】袖衿<sub>（ソテ、コロモノクヒ）</sub><sub>ト</sub>者、即自心案立<sub>ノ</sub>義也。（第十私見聞）

じゆうしほうどう【從師訪道】從師<sub>ノ</sub>訪道<sub>ト</sub>者、コノンテ寺<sub>ニ</sub>詣<sub>テ</sub>隨<sub>テ</sub>師<sub>ニ</sub>訪<sub>道</sub>云<sub>事也</sub>。（第十私見聞）

じゆうじゆ【重頌】重頌<sub>ト</sub>者、長行也。後<sub>ニ</sub>重説<sub>ヲ</sub>偈<sub>名</sub>重頌<sub>ト也</sub>。（第四私見聞）

しゆうしゆうとうぞう【秋収冬藏】秋収冬藏<sub>ト</sub>者、秋収<sub>ハ</sub>法花也。冬藏<sub>ハ</sub>涅槃也。（第十私見聞）

しゆうぜん【習禪】習禪<sub>ト</sub>者、坐禪修行<sub>スル</sub>也。（第十私見聞）

しゆうぜんぎげ【習禪義解】習禪義解<sub>等</sub>者、禪師也。当世<sub>ノ</sub>非禪師<sub>ニ</sub>、仏法之中<sub>ノ</sub>禪法<sub>ト云々</sub>。当世<sub>ノ</sub>禪<sub>ハ</sub>達羅磨禪也。今<sub>ノ</sub>禪<sub>ト</sub>者、此<sub>ニハ</sub>非仏法弘通<sub>ノ</sub>人也。利根<sub>ノ</sub>人<sub>ノ</sub>多<sub>ク</sub>雖伝仏法<sub>ヲ</sub>、非自解仏乘<sub>ニ</sub>云<sub>事也</sub>。（第十私見聞）

しゆうぞく【宗族】宗族<sub>ト</sub>者、御一門也。即雖同種姓<sub>ト</sub>不得道<sub>ノ</sub>人名<sub>ト</sub>外眷属<sub>ニ</sub>云<sub>事也</sub>。（第六私見聞）

じゆうにやく【十二薬】十二薬<sub>ト</sub>者、十二部經<sub>ニ</sub>譬<sub>也</sub>。（第二十私見聞）

しゆせい【守静】静<sub>ト</sub>者、老子<sub>ノ</sub>虚無<sub>ノ</sub>道也。（第四私見聞）

しゆぜつ【殊絶】殊絶<sub>ト</sub>者、事<sub>ノ</sub>不思議<sub>ヲ</sub>、理<sub>ノ</sub>不思議<sub>ヲ</sub>説也。（第十私見聞）

しゆつぼつりやく【出没利益】出<sub>ト</sub>者、出世成道也。没<sub>ト</sub>者、涅槃也。此即一代漸教<sub>ノ</sub>相<sub>ヲ</sub>尺也。（第二十私見聞）

しゆとろ【修妬路】修妬路<sub>ハ</sub>、梵語也。修多羅<sub>ノ</sub>異名也云々。（第二十私見聞）

しゆら【収羅】収羅<sub>ト</sub>者、共<sub>ニ</sub>収<sub>ヲ</sub>義<sub>也</sub>。（第六私見聞）

じゆりん【儒林】儒林<sub>ト</sub>者、孔子也。（第六私見聞）



しゅんれい【峻嶺】峻嶺（シユンレイ、ケハシキミニネ）<sub>ト</sub>者、高山也。（第二十私見聞）

じよ【序】序<sub>ト</sub>者、無量義経也。即無量義経、為<sub>ニ</sub>法花<sub>ノ</sub>序也。故<sub>ニ</sub>名序<sub>ト</sub>也云々。（第十私見聞）

しよい【所為】所為<sub>ト</sub>者、所作也。即化道等<sub>ノ</sub>所為也。（第六私見聞）

しようぎよう【正行】戒定惠之中<sub>ニ</sub>以<sub>テ</sub>惠<sub>ヲ</sub>為<sub>ニ</sub>正行<sub>ト</sub>、以<sub>テ</sub>戒定<sub>ヲ</sub>為<sub>ニ</sub>助行<sub>ト</sub>也。即依定戒<sub>ニ</sub>生<sub>ル</sub>惠<sub>ヲ</sub>故也。（第四私見聞）

しようけつ【精血】精血<sub>ト</sub>者、父母<sub>ノ</sub>赤白<sub>ノ</sub>精血也。（第二十私見聞）

しようれし【生子】生子<sub>ト</sub>者、羅睺羅等也。其後、厭世<sub>ヲ</sub>出家也。（第六私見聞）

じようれしゆう【常宗】常宗<sub>ト</sub>者、常住<sub>ノ</sub>旨<sub>ヲ</sub>説也。（第十私見聞）

しようれしゆう【小聖】小聖<sub>ト</sub>者、藏通<sub>ノ</sub>見思斷<sub>ノ</sub>聖人也。（第六私見聞）

しようれしゆう【精誠】精誠<sub>ト</sub>者、精進ニシテマコト御坐<sub>ト</sub>云事也。（第十私見聞）

しようれしゆう【將生】將生<sub>ト</sub>者、正<sub>ク</sub>生セントスル宿善<sub>ノ</sub>之時<sub>ヲ</sub>將生<sub>ト</sub>云也。（第六私見聞）

しようれしゆう【唱導】唱導<sub>ト</sub>者、説法也。（第十私見聞）

しようれしゆう【聖人得事】聖人得事<sub>ト</sub>者、証得<sub>ノ</sub>上<sub>ノ</sub>出仮利生<sub>ノ</sub>事也。（第六私見聞）

しようれしゆう【承筆】承筆<sub>ト</sub>者、記筆<sub>ノ</sub>達名也。（第十私見聞）

しようれしゆう【聖滅】聖滅<sub>ト</sub>者、涅槃<sub>ヲ</sub>云<sub>ト</sub>覺<sub>ヲ</sub>リ。（第二十私見聞）

しようれしゆう【初学】初学<sub>ト</sub>者、初心也。（第四私見聞）

しようれしゆう【初二偈】初二偈<sub>ト</sub>者、伽陀、祇夜、二偈也。（第六私見聞）

しようれしゆう【初念善心】初念善心<sub>ト</sub>者、初発心也。（第六私見聞）

しようれしゆう【諸問】諸問<sub>ト</sub>者、諸学人也。（第十私見聞）

しようれしゆう【新医】旧医<sub>ト</sub>者、外道也。如来出世<sub>ヨリ</sub>前<sub>ニ</sub>出世<sub>ヲ</sub>邪法<sub>ヲ</sub>説也。故<sub>ニ</sub>旧医<sub>ト</sub>云也。对<sub>シテ</sub>之<sub>ニ</sub>、如来<sub>ヲ</sub>新医<sub>ト</sub>云也。（第二私見聞）

しようれしゆう【神異】神異<sub>ト</sub>者、神通也。（第十私見聞）

しようれしゆう【臣主珍敬】臣<sub>シ</sub>主<sub>シ</sub>珍<sub>チ</sub>敬<sub>ケ</sub>者、臣<sub>ハ</sub>大臣等<sub>ノ</sub>百官也。主<sub>ト</sub>者、王<sub>ノ</sub>御事也。王<sub>臣</sub>共<sub>ニ</sub>珍敬<sub>ヲ</sub>給<sub>ト</sub>云事也。

（第十私見聞）

しんじゆん【臣順】臣順<sub>ト</sub>者、生<sub>ノ</sub>後<sub>ニ</sub>隨順<sub>シテ</sub> 父母<sub>ニ</sub>不違背<sub>一</sub>也。（第六私見聞）

しんじよう【盡淨】盡淨<sub>ト</sub>者、妄執<sub>ヲ</sub>盡<sub>コト</sub>トク<sub>ト</sub>淨<sub>キ</sub>ヨメ<sub>スル</sub> 空<sub>ニ</sub>義也。（第十私見聞）

しんどう【真道】真道<sub>ト</sub>者、中道也。（第六私見聞）

すいが【推畫】推畫（スイクワク）<sub>ト</sub>者、推察<sub>ノ</sub>義也。以四見<sub>ノ</sub>心<sub>ヲ</sub>、諸法<sub>ヲ</sub>推察<sub>シテ</sub>隨<sub>テ</sub>心所念<sub>ニ</sub>法<sub>ヲ</sub>□□立<sub>スル</sub>也。（第六私見聞）

すいぞう【醉象】醉象<sub>ト</sub>者、醉酒<sub>ニ</sub>醉<sub>ヘル</sub>人<sub>ノ</sub>其心狂醉<sub>シテ</sub>如損<sub>カ</sub>人<sub>マ</sub>、彼象<sub>又</sub>如是狂醉<sub>ノ</sub>損人<sub>一</sub>、故<sub>ニ</sub>名醉象<sub>ト</sub>也云々。（第六私見聞）

聞）

ずきよう【誦經】誦經<sub>ト</sub>者、此人誦經<sub>ヲ</sub>為<sub>ル</sub>能<sub>ト</sub>也。（第十私見聞）

ずねんをはらうがごとく【如救頭燃】一心精進<sub>ノ</sub>心<sub>ヲ</sub>尺也。（第六私見聞）

せい【制】制<sub>ト</sub>者、作<sub>ノ</sub>義也。非禁制<sub>ノ</sub>制<sub>ニ</sub>也。（第六私見聞）

せい【声】声<sub>ト</sub>者、教文也。文ノママニ取<sub>テ</sub>義<sub>ヲ</sub>、深<sub>キ</sub>意<sub>ヲ</sub>不<sub>ト</sub>知<sub>ニ</sub>云々。（第十私見聞）

せい【西夷】西夷<sub>ト</sub>者、西（ニシ）ノ夷（エヒス）<sub>ト</sub>云<sub>フ</sub>事也。惣四方夷<sub>ヲ</sub>云<sub>ニ</sub>ハ、東夷（トウイ）、南蛮（ナンハン）、西

戒（セイシユ）、北狄（テキキ）。（第六私見聞）

せいしつしよ【制止一處】制止<sub>一</sub>處<sub>ニ</sub>等者、惡<sub>ヲ</sub>制止<sub>シテ</sub>令住<sub>セ</sub>觀心<sub>ノ</sub>一處<sub>ニ</sub>、故<sub>ニ</sub>無事<sub>シテ</sub>不<sub>レ</sub>弁<sub>ニ</sub>云也。（第二私見聞）

せきじつ【夕日】夕日<sub>ハ</sub>又如<sub>ニ</sub>朝日<sub>ノ</sub>照<sub>ス</sub>高山<sub>ヲ</sub>也。是即涅槃<sub>ニ</sub>常住<sub>ノ</sub>仏性<sub>ヲ</sub>説<sub>給</sub>、即花嚴<sub>ノ</sub>法界<sub>ノ</sub>義也。（第二十私見聞）

せつしよう【折小】折小<sub>ト</sub>者、小乘<sub>ヲ</sub>彈呵<sub>スル</sub>也。（第十私見聞）

せつぼう【説法】説法<sub>ハ</sub>又口輪也。（第六私見聞）

せん【籤】籤<sub>ト</sub>者、即フタナリ。不<sub>レ</sub>審<sub>ノ</sub>處<sub>ニ</sub>即指也。（第十私見聞）

せんきよう【纏經】纏經<sub>ト</sub>者、即譬也。ハタラ、ルニ譬也。纏<sub>ハ</sub>イトスチ也。又、ヌキ也。經<sub>ハ</sub>法門<sub>ノ</sub>品々ナルヲアリアラハ

ス也。故<sub>ニ</sub>名纏經<sub>ト</sub>也。是即譬<sub>ニ</sub>依<sub>テ</sub>為<sub>ル</sub>名<sub>ノ</sub>義也。（第六私見聞）

せんさく【穿鑿】穿鑿（センシヤク、ホリ、ウカツ）<sub>ト</sub>者、今家所立<sub>ノ</sub>於法門<sub>ニ</sub>、難<sub>ヲ</sub>求<sub>メ</sub>非<sub>テ</sub>尋<sub>テ</sub>生<sub>ル</sub>難勢<sub>一</sub>也。（第六私見聞）

せんじ【詮次】詮次<sub>ト</sub>者、階級也。即以位<sub>ノ</sub>次第也。（第十私見聞）

ぜんしゆ【善趣】善趣<sub>ト</sub>者、人天<sub>ノ</sub>善趣也。即人天<sub>ノ</sub>善根<sub>ヲ</sub>以<sub>テ</sub>彼<sub>ヲ</sub>度<sub>ス</sub>ト云<sub>フ</sub>事也。（第六私見聞）

せんはく【阡陌】阡陌<sub>ト</sub>者、或義云、タテサマ、ヨコサマト読也<sub>ト</sub>云々。此即縦横<sub>ノ</sub>義也。(第十私見聞)  
せんやく【賤業】賤業<sub>ト</sub>者、三藏小乘<sub>ノ</sub>法也。小機<sub>ニ</sub>相叶<sub>レ</sub>、故<sub>ニ</sub>是<sub>レ</sub>病<sub>ニ</sub>宜也。(第二十私見聞)

そう【相】世間<sub>ノ</sub>相人<sub>ノ</sub>如<sub>ク</sub>、相<sub>カ</sub>人<sub>ノ</sub>善悪<sub>ノ</sub>相<sub>ヲ</sub>、仏<sub>ハ</sub>人<sub>ノ</sub>善悪<sub>ノ</sub>之業<sub>ノ</sub>相<sub>ヲ</sub>知念也。此等皆相也。(第四私見聞)

そうし【僧史】僧史者、即此<sub>ノ</sub>俗<sub>ノ</sub>右史等<sub>ノ</sub>例<sub>シテ</sub>、僧之事<sub>ヲ</sub>記<sub>ル</sub>文也。故<sub>ニ</sub>名<sub>ニ</sub>僧史<sub>ニ</sub>云々。(第十私見聞)

そうしゅうのたとえ【莊周譬】即夢<sub>ニ</sub>成<sub>テ</sub>コテウト<sub>ニ</sub>経<sub>ヲ</sub>リ百年<sub>ヲ</sub>、サムレハ即一念<sub>ノ</sub>之<sub>ノ</sub>間也。(第四私見聞)

そじ【楚辞】楚辞(ソシ)<sub>ト</sub>者、俗典<sub>ノ</sub>名也。(第六私見聞)

そんらく【村落】村落<sub>ト</sub>者、聚落也。(第四私見聞)

### 【た行】

だいいはり【提謂波利】提謂<sub>ト</sub>波利<sub>ト</sub>、二人<sub>ノ</sub>為長者<sub>ノ</sub>、説給<sub>レ</sub>経也。即名提謂波利<sub>ノ</sub>経也。(第十私見聞)

だいいけん【大賢】大賢<sub>ト</sub>者、別円<sub>ノ</sub>地位以前也。(第六私見聞)

だいいこう【台衡】台衡<sub>ト</sub>者、天台<sub>ノ</sub>衡者、南岳御事也。(第十私見聞)

だいいぎょう【大事業】大事業<sub>ト</sub>者、一大事因縁<sub>ノ</sub>事業也。今釈尊出世<sub>ノ</sub>大事<sub>ノ</sub>因縁<sub>ノ</sub>説妙法花<sub>ヲ</sub>、故<sub>ニ</sub>依<sub>レ</sub>之<sub>ノ</sub>来<sub>ル</sub>名<sub>ニ</sub>大事業<sub>来</sub><sub>ト</sub>也。(第六私見聞)

だいいゆう【大猷】大猷<sub>ト</sub>者、太宗<sub>ムネ</sub>ナリ。(第二私見聞)

だいいりきあらかん【大力阿羅漢】大力阿羅漢<sub>ト</sub>者、惣<sub>テ</sub>阿羅漢<sub>ヲ</sub>大力<sub>ト</sub>云也。別<sub>ニ</sub>於阿羅漢<sub>ノ</sub>中<sub>ニ</sub>非有大力<sub>ノ</sub>、小力<sub>一</sub>也云々。(第六私見聞)

### 六私見聞

だいいらい【台嶺】台嶺<sub>ト</sub>者、天台山也。(第十私見聞)

だいろくきょう【第六経】第六経<sub>ト</sub>者、今<sub>ノ</sub>法花経<sub>ノ</sub>第六<sub>ヲ</sub>指也。但<sub>シ</sub>今経<sub>ノ</sub>第七<sub>ノ</sub>卷<sub>ニ</sub>有此文<sub>一</sub>、所以然<sub>ル</sub>者、漢土<sub>ニハ</sub>為七卷<sub>ト</sub>、

日本流布<sub>ノ</sub>経<sub>ハ</sub>八卷也。故<sub>ニ</sub>唐土<sub>ノ</sub>第六<sub>ノ</sub>卷<sub>ト</sub>云、日本<sub>ノ</sub>経<sub>ノ</sub>第七<sub>ノ</sub>卷<sub>ニ</sub>有也。(第六私見聞)

だるまうつたら【達磨鬱多羅】達磨鬱多羅<sub>ト</sub>、梵語也。此<sub>ニハ</sub>翻法尚<sub>ト</sub>也。即達磨<sub>ノ</sub>法也。鬱多羅<sub>ハ</sub>尚也云々。此人阿羅漢也。仏

滅後八百年中<sub>ニ</sub>出世<sub>ニ</sub>也。(第六私見聞)

だんじょう【檀苴】檀苴<sub>ト</sub>者、梅檀<sub>ノ</sub>苴(クサヒラ)也。釈尊<sub>ノ</sub>涅槃<sub>ノ</sub>時、梅檀<sub>ノ</sub>苴<sub>ヲ</sub>釈尊<sub>ニ</sub>有奉供養<sub>一</sub>事、此<sub>ノ</sub>事<sub>ノ</sub>涅槃<sub>ノ</sub>時<sub>ニシテ</sub>、

而亦在リト阿含ノ内ニ云々。（第十私見聞）

たんへん【彈偏】彈偏ト者、以円一、通別ヲ彈呵也。（第十私見聞）

たんりんせきよく【單輪隻翼】單輪ト者、車ノカタ輪（ワ）也。隻（サク、カタカタ）翼ト者、鳥ノカタ羽也。（第十私見聞）

ちゆうじつり【中実理】中実理ト者、但中ノ実理也。以実智ヲ、合スル実理ニ也。是又智ヲ為男ト、理ヲ為女ト意也。（第六私見聞）

ちゆうろんのげ【中論偈】因縁所生法、偈文也。（第四私見聞）

ちよ【著】著ト者、アラハスト可読也。此ノ時ハ音ニチヨト可読ニ也。（第十私見聞）

ちよう【暢】暢ト者、有テ通局一、自在ナル義也。（第六私見聞）

ちようがくもんじのひと【聴学文字人】聴学文字人ト者、学テ文字許ヲ、不知義理ヲ人也。（第六私見聞）

ちようじゆう【肇什】肇什（テウシウ）等者、肇（テウ）ト者、肇法師也。什者、羅什也。羅什ハ非トモ破ニ、語ノ便リニ七ト云々。肇法師ハ羅什ノ四人ノ子ノ随一也。南方ノ諸師多ク承ト肇法師ニ云々。（第四私見聞）

ちようま【調魔】調魔ト者、降魔也。（第五上私見聞）

ちんふ【沈浮】沈ト者、コンナリ。浮ト者、チンナリ、即散乱也。（第二私見聞）

つうぎよう【通教】通教ト者、小乘也。（第六私見聞）

つうほう【通方】通方ト者、世ノ常ツネニナニトナキ語也。（第二十私見聞）

つうよう【通用】通用ト者、通漫ス云義也。即因ハ、必剋ス果一、道理自然也。（第四私見聞）

てん【点】点ト者、ヲサウル義也。即、空ヲヲサヘテ仮諦ト談ル義也。空即是色義也。（第四私見聞）

てん【点】点ト者、ヲサヘタル義也。（第二十私見聞）

てんこ【天鼓】天鼓コハ、生善ヲ義也。即当嬰兒行ニ也。（第六私見聞）

てんさく【添削】敢テ希添削等ト者、意云、後ニ見人、惡ワルキヲハ削リ、善ヨキヲ添フ云事也。（第十私見聞）

てんざつ【添雜】添雜ト者、異義、マシワリソウト云事也。（第二十私見聞）

てんしんろう【天真朗】天真朗等者、内証ノ法、凡天然不思議ノ法体ニシテ、不由他悟ルニ処ヲ天真朗也ト云也。（第十私見聞注）

ど【度】度ト者、放光一、度スル前後ヲ等也。（第六私見聞）

どうし【導師】導師ト者、仏也。（第二十私見聞）

どうし【道士】道士、者、外道也。(第六私見聞)

どうもう【童蒙】童蒙、者、二乗也。(第十私見聞)

どっこ【毒鼓】毒鼓、破惡ノ義也。即病行ニ当也。(第六私見聞)

### 【な行】

ならえん【那羅延】那羅延、者、強力ノ人也。以是、譬菩薩也。(第六私見聞)

にじゆ【二頌】二頌、者、祇夜、伽陀也。(第六私見聞)

にしよぼさつ【二処菩薩】二処菩薩、者、文殊、弥勒也。(第十私見聞)

にやくじゆにやくしやく【若樹若石】若樹若石、等、者、雪山童子聞半偈、此偈、若石、樹ニ書付給テ伝テ末代ニ云事也。其

後ニ身ヲ施夜又ニ云々。夜又、者、非実、夜又、天帝尺、變化ト云々。(第十私見聞)

にやくでんにやくり【若田若里】若田若里等、者、若田ノ中、若里ノ聚落等ニシテモ、此経ヲ為人ニ可演説ニ云々。故ニ今為末代

利益、六十卷等ヲ記録ニ云意也。(第十私見聞)

によいじゆしん【如意珠身】如意珠身、者、大乘ノ三世常恒ノ応化利生ノ身也。(玄義第六私見聞)

### 【は行】

は【破】破、者、破慳、破嗔、等也。惣ニ云ハハ減悪生善ノ義。(第六私見聞)

ばしゆはんだ【婆修槃駄】婆修槃太(駄)者、人師ノ名也。此ノ人尺提婆ノ百論也。(第六私見聞)

ばんけん【晚賢】晚賢、者、末スノ師等也。(第二十私見聞)

はんほうべん【平方便】平方便、者、鹿苑ノ小執ヲヒカヘタル方ヲ云也云々。(第二十私見聞)

ひつきよう【畢竟】一切衆生、即有、仏性ニ云、是即畢竟ノ畢竟也。即至極ノ義也。(第十私見聞)

ひと【人】人、者、花嚴、テウクワント云々。本妙樂、御弟子也。後、改宗、成花嚴宗、還テ下法花ノ故、妙樂、彼ノ人ヲ破也。

(第六私見聞)

ひふしゆんれつ【皮膚皴裂】火ヲタヒテ身ヲアフリウカツ故ニ即皮膚皴裂也。(第四私見聞)

- ひほう【秘方】秘方<sub>ト</sub>者、大乘ノ法ニ譬也。（第二十私見聞）
- ひんじゆ【賓主】賓主<sub>ト</sub>者、賓<sub>ト</sub>客人ノ義也。文殊也。主者、弥勒也。即家主（イハヌシ）ノコトシ。（第十私見聞）
- ふくう【不空】不空<sub>ト</sub>者、中道ノ名也。小乘当分<sub>ニテハ</sub>、只世俗ノ法体ノ当体不空<sub>ニテハ</sub>、処<sub>ニテハ</sub>不空<sub>ニテハ</sub>云也。非大乘中道ノ不空<sub>ニテハ</sub>也。故名<sub>ニハ</sub>、同也。（第四私見聞）
- ふせつ【不説】不説<sub>ト</sub>者、言辞相寂滅也。（第六私見聞）
- ふだんちあい【不断痴愛】不断痴愛<sub>ト</sub>者、此<sub>ハ</sub>煩惱即菩提ノ義也。是即了因仏性也。（第十私見聞）
- ぶつか【仏加】仏加<sub>ト</sub>者、仏ノ加被也。（第六私見聞）
- ぶつどばどらさんぞう【仏度跋陀羅三蔵】仏度跋陀羅三蔵<sub>ト</sub>者、是人<sub>ハ</sub>北天竺ノ人也。唐土ニ來テ<sub>テ</sub>經ヲ訳ル也。旧訳ノ花嚴是也。即司<sub>シ</sub>官寺ヲ訳スト云々。大唐也。（第二十私見聞）
- ふもう【誣調】誣調（フマウ、シフル）。意云、指法花<sub>ニテハ</sub>為<sub>ル</sub>無常<sub>ト</sub>事<sub>シフル</sub>ノ義也。（第二十私見聞）
- ふんうん【紛紜】紛紜<sub>ト</sub>者、諍不<sub>シテ</sub>一純<sub>ニ</sub>、乱ルルコト如絲ヲミタスカ也。（第二十私見聞）
- ぶんちよう【文長】文長<sub>ト</sub>者、花嚴<sub>ハ</sub>八十卷、或<sub>ハ</sub>六十卷、故<sub>ニ</sub>文広長也。（第十私見聞）
- へい【竝】竝<sub>ト</sub>者、一<sub>ニ</sub>ヲツツヲナラヘ<sub>テ</sub>例シ難<sub>スル</sub>時<sub>ノ</sub>言也。即宗用<sub>ト</sub>ヲナラヘ<sub>テ</sub>用<sub>ノ</sub>如兼自行化他<sub>一</sub>、宗<sub>モ</sub>以自行化他<sub>ノ</sub>因果<sub>ヲ</sub>、可<sub>ト</sub>為<sub>ル</sub>宗<sub>ト</sub>難<sub>スル</sub>也。竝<sub>ニ</sub>云<sub>ハ</sub>皆同也。（第二私見聞）
- べつきよう【別教】別教<sub>ト</sub>者、惣<sub>シテ</sub>指大乘<sub>ヲ</sub>也。（第六私見聞）
- へんかん【偏觀】偏觀<sub>ト</sub>者、無<sub>シテ</sub>多聞<sub>一</sub>、自<sub>ラ</sub>智<sub>ヲ</sub>修行<sub>ヲ</sub>作也。（第二私見聞）
- へんつう【變通】變通<sub>ト</sub>者、神通也。（第二私見聞）
- へんもつ【片物】片<sub>（カタカタ）</sub>物<sub>ト</sub>者、カタカタアル物也。（第四私見聞）
- ほうぎようのひと【法行人】法行人<sub>ハ</sub>利根<sub>ニシテ</sub>自<sub>ラ</sub>披見經<sub>ヲ</sub>生解<sub>ヲ</sub>人<sub>也</sub>。（第二私見聞）
- ほうふう【望風】望風<sub>ト</sub>者、例<sub>ハ</sub>風<sub>ハ</sub>前<sub>ハ</sub>塵<sub>コトクシテ</sub>不<sub>ト</sub>物<sub>ナラ</sub>云事也。（第四私見聞）
- ほうへんよくよう【褒貶抑揚】褒貶抑揚<sub>ト</sub>者、彈呵ノ義也。（第十私見聞）
- ほうもんこうみよう【法門浩妙】法門浩妙<sub>ト</sub>者、甚深源妙ノ義也。（第十私見聞）
- ぼさつ【菩薩】菩薩<sub>ト</sub>者、積尊ノ因位ノ事<sub>ヲ</sub>説也。（第六私見聞）

ほしよう【保證】保證者、方等ノ四教之中ニ別円ハ見仏ヲ、藏通ハ留テ但空ニ、不見中道仏性也。保證ハ即但空ヲ證テ留レ義也。(第二十私見聞)

ほっしん【法身】法身者、地住已上ノ菩薩也。(第六私見聞)

ほん【品】品者、偈頌也。(第二十私見聞)

ほんし【梵志】梵志者、外道ノ通名也。(第十私見聞)

ほんぷうり【凡夫有理】凡夫有理者、迷中ノ理性具足セルヲ云也。(第六私見聞)

### 【ま行】

まかそじ【摩訶祖持】摩訶祖持者、陀羅尼ノ名也。(第十私見聞)

まつりぶにん【末利夫人】まつりぶ人天台、マリブ人南都。(第六私見聞)

みこ【美語】美語者、キレキレニ句ヲ調説ヲ樂欲也。此即偈頌ニ當也。(第六私見聞)

みろくずしゅう【弥勒図衆】弥勒図衆者、靈山ノ衆会皆コソツテ疑ヲ生ス。弥勒知テ衆ノ心ヲ問文殊ニ給也。(第十私見聞)

めい【冥】冥者、不顯露ニ義也。即法爾自然ニ妙也ト云事也。(第四私見聞)

めいき【冥機】冥機者、過去ノ宿善ヲ冥機ト云也。現在ニ不修ノ故ニ冥也。現在ニ修スルヲ顯機ト云也。現ニ修スル故ニ顯也。(第六私見聞)

めいりよう【迷了】迷了者、迷修了修ト也。(第六私見聞)

めみやく【馬麦】馬麦者、天竺ニ在世時、有王奉請仏、奉安居、雖然ニ供養ノ物等不沙汰也。故ニトネリヲトコ馬ヲ為ニ用

意スルヲ奉ル供養ト也。(第十私見聞)

もうぎよ【網魚】網魚者、網(アミ)ヲモテ魚トトル也。前ノ魚ヲ前ノ取、後ノ魚ヲ後ノ取ト云義也。仏ノ前後ノ光、以テ

度ニ人ノ譬也。(第六私見聞)

もつり【物理】物理者、衆生ノ機根也。(第六私見聞)

もんじのひと【文字人】文字ノ人者、即當信行人ニ、坐禪人ト者、當法行人ト也。故ニ施設教相觀心ノ両途ト云々。(第二私

見聞)

もんじゅじょうし【文殊承旨】文殊承旨<sub>ト</sub>者、文殊蒙<sub>テ</sub>仏<sub>ノ</sub>仰<sub>ヲ</sub>行向也。（第十私見聞）  
もんり【文理】文<sub>ト</sub>者、經<sub>ト</sub>文、理<sub>ト</sub>者、道理也。（第二私見聞）

【や行】

やくきよう【訳経】訳経<sub>ト</sub>者、翻譯<sub>ノ</sub>事也。（第十私見聞）  
やば【野馬】野馬<sub>ハ</sub>カケロウノコトクナル物也云々。（第二十私見聞）  
ゆうづう【融通】融通<sub>ト</sub>者、融通法界<sub>ノ</sub>義也。（第十私見聞）  
ゆうねん【憂念】憂念<sub>ト</sub>者、哀愍<sub>ノ</sub>義也。（第十私見聞）  
ゆぎ【喻疑】喻疑<sub>ト</sub>者、妙樂<sub>ノ</sub>義例<sub>ト</sub>云<sub>フ</sub>文<sub>ノ</sub>中<sub>ノ</sub>科段<sub>ノ</sub>名也。（第六私見聞）  
ようじじじよう【楊枝自浄】楊枝自浄<sub>ト</sub>者、楊枝<sub>ヲ</sub>以<sub>テ</sub>用給也。（第六私見聞）  
ようしゆく【盈縮】盈<sub>ト</sub>者、譬大乘<sub>ニ</sub>、円満<sub>ノ</sub>義也。縮<sub>ト</sub>者、小乘<sub>ニ</sub>譬<sub>フ</sub>。（第二十私見聞）  
ようほ【養母】養母<sub>ト</sub>者、養育<sub>ノ</sub>母也。即乳母也。（第六私見聞）  
よき【余輝】余輝<sub>ト</sub>者、涅槃<sub>ノ</sub>夕日又独<sub>リ</sub>照高山<sub>ヲ</sub>、故<sub>ニ</sub>花嚴<sub>ト</sub>不別<sub>ノ</sub>事<sub>ヲ</sub>尺也。（第二十私見聞）

【ら行】

らい【禮】禮<sub>ヲ</sub>ト者、礼記也。文書也。（第十私見聞）  
らくいんびぜん【楽因微善】楽因微善<sub>ト</sub>者、過去<sub>ニ</sub>依<sub>テ</sub>微善<sub>ノ</sub>因<sub>ニ</sub>、今雖墮地獄<sub>ニ</sub>、小分<sub>ノ</sub>樂<sub>アリト</sub>云事也。（第六私見聞）  
らっけんじごく【樂間地獄】樂間<sub>ト</sub>者、苦<sub>ノ</sub>中<sub>ニ</sub>小分樂<sub>ノ</sub>間<sub>マシハル</sub>也。即無間地獄<sub>ニ</sub>相對<sub>シテ</sub>余<sub>ノ</sub>地獄<sub>ヲ</sub>名樂間地獄<sub>ト</sub>也。樂<sub>ト</sub>者、地獄<sub>ノ</sub>中小分冷風等<sub>ニ</sub>触<sub>ルル</sub>等<sub>ノ</sub>樂也。若寒地獄<sub>ヲ</sub>ハ、小分温氣<sub>ニ</sub>触<sub>ルル</sub>等<sub>ノ</sub>樂也。（第六私見聞）  
り【理】理<sub>ト</sub>者、道理也。（第六私見聞）  
りい【遷迤】遷迤（カタチカヘ）<sub>ト</sub>者、即差別義也。（第四私見聞）  
りきよう【理境】理境<sub>ト</sub>者、境妙也。（第十六私見聞）  
りこもう【離虚妄】離虚妄<sub>ト</sub>者、見思<sub>ヲ</sub>離<sub>スル</sub>、名離虚妄<sub>ト</sub>也。（第五上私見聞）



りつぎきく【律儀規矩】規矩ハ方田ト尺セリ。即律儀ノフルマイ也。(第六私見聞)

りゆうぐう【龍宮】天竺ニ佛法破滅之時、龍樹菩薩、往龍宮ニ仏教ヲ伝テ、天竺ニ広ク興シ給也。其時、象ニ負テ來給也。(第六私見聞)

りようい【良医】良医ト者、譬仏ニ也。(第二十私見聞)

りようい【良医】良医ハ能ク鑑此大小ノ機ニ也。仏又如是也云々。(第二十私見聞)

りようけん【料簡】料簡ト者、即問答也。(第二私見聞)

りようもく【料目】料目ト者、料段也。(第四私見聞)

るはん【流播】流播ト者、末代ニ及ト云事也。(第二十私見聞)

れいらく【零落】零落ハ、ヲツル也。(第十私見聞)

れつしゃ【劣謝】劣謝ト者、何ソ花嚴ニヲトラン耶ト云事也。(第十私見聞)

ろういん【弄胤】弄胤ト者、初ノ義也。即序ハ正宗ノ弄胤ナリト云フ風情也。即依序ニ生ル正宗ヲ也。即此体ノ義也。(第十私見聞)

ろくほう【六法】六法ト者、六神通也。(第六私見聞)